



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
コード番号 9012 URL <https://www.chichibu-railway.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 英伸
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 佐藤 伸 TEL 048-523-3311
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,417	5.4	32	—	43	—	234	—
2023年3月期第2四半期	2,292	9.2	△199	—	△160	—	△194	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 27百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △190百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	158.16	—
2023年3月期第2四半期	△130.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	16,578	5,053	30.4	3,394.53
2023年3月期	16,954	5,030	29.6	3,378.74

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 5,042百万円 2023年3月期 5,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900	4.5	△120	—	△140	—	△100	—	△67.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	1,500,000株	2023年3月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	14,487株	2023年3月期	14,487株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	1,485,513株	2023年3月期2Q	1,485,553株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
(重要事象等について)	10
4. 補足情報	11
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へ移行し、社会経済活動の正常化が進む中、沿線においても、一定程度の人流回復が見られました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は2,417百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は32百万円（前年同期は199百万円の営業損失）、経常利益は43百万円（前年同期は160百万円の経常損失）となりました。また、固定資産の減損損失を特別損失に計上したものの、投資有価証券売却益等を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は234百万円（前年同期は194百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

[鉄道事業]

旅客部門では、「SLガリガリ君エクスプレス」や「ちちてつサマーフェスタ」をはじめ、沿線企業等と連携した企画列車の運行やイベントの開催のほか、SL運行3000回を記念した乗車券の発売など、積極的に旅客誘致に取り組みました。これらのほか、沿線の各種行事の再開や通勤定期需要の回復により、旅客人員及び収入は前年同期に比べ増加いたしました。

貨物部門では、輸送量が増加したことなどにより、貨物収入は前年同期に比べ増加いたしました。

営業費用は、減価償却費、電力費などが減少いたしました。

この結果、営業収益は1,647百万円（前年同期比8.6%増）、営業損失は30百万円（前年同期は202百万円の営業損失）となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、賃貸収入は、駐車場の稼働率、賃貸物件の入居率の向上により、前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は180百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は96百万円（同33.5%増）となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、夏休み期間中に、天候不順の影響を受けたものの、各施設の料金体系見直しの効果や団体利用の回復が見られ、増収となりました。

この結果、営業収益は206百万円（前年同期比3.9%増）、営業損失は5百万円（前年同期は13百万円の営業損失）となりました。

[卸売・小売業]

卸売・小売業におきましては、コンビニエンスストアのほかイベント等における売上が増加いたしました。

この結果、営業収益は298百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益は13百万円（同41.6%増）となりました。

[その他]

バス事業におきましては、団体の貸切バス需要に回復が見られました。一方、建設・電気工事業におきましては、工事の受託が減少いたしました。

この結果、営業収益は305百万円（前年同期比2.1%増）、営業損失は45百万円（前年同期は68百万円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ376百万円減少し16,578百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ187百万円増加し1,769百万円、固定資産は563百万円減少し14,808百万円となりました。流動資産増加の主な要因は、その他に含まれる前払金が減少した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が増加したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、投資有価証券の売却及び固定資産の減損損失によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ399百万円減少し11,524百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ29百万円減少し3,732百万円、固定負債は370百万円減少し7,791百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、資産撤去引当金が減少したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、長期借入金の減少等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ23百万円増加し5,053百万円となりました。純資産増加の主な要因は、投資有価証券の売却によりその他有価証券評価差額金が減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年6月5日に公表した業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日（2023年11月9日）別途公表の「2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	810,758	899,586
受取手形、売掛金及び契約資産	298,190	500,479
分譲土地建物	94,513	94,134
商品及び製品	35,010	35,356
原材料及び貯蔵品	162,658	165,329
その他	184,954	79,252
貸倒引当金	△3,853	△4,251
流動資産合計	1,582,231	1,769,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,329,502	13,082,812
減価償却累計額	△10,123,880	△10,165,987
建物及び構築物 (純額)	3,205,622	2,916,825
機械装置及び運搬具	5,071,403	4,393,666
減価償却累計額	△4,611,432	△3,851,785
機械装置及び運搬具 (純額)	459,970	541,880
土地	11,022,199	11,022,199
その他	988,231	960,560
減価償却累計額	△777,818	△818,084
その他 (純額)	210,413	142,475
有形固定資産合計	14,898,205	14,623,381
無形固定資産	4,234	46,927
投資その他の資産		
投資有価証券	420,026	84,167
繰延税金資産	8,532	13,646
その他	63,152	62,086
貸倒引当金	△21,984	△22,003
投資その他の資産合計	469,727	137,897
固定資産合計	15,372,168	14,808,206
資産合計	16,954,399	16,578,093

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	194,790	201,676
短期借入金	905,000	805,000
1年内返済予定の長期借入金	1,167,264	1,244,444
未払法人税等	15,828	47,140
未払消費税等	191,107	227,300
契約負債	78,194	95,241
賞与引当金	152,187	170,449
資産撤去引当金	286,885	105,375
その他	770,761	836,058
流動負債合計	3,762,020	3,732,687
固定負債		
長期借入金	3,427,936	3,090,736
繰延税金負債	91,724	4,207
再評価に係る繰延税金負債	3,099,461	3,099,461
退職給付に係る負債	1,318,508	1,257,898
特別修繕引当金	56,700	69,300
長期預り金	86,133	84,752
その他	81,608	185,294
固定負債合計	8,162,073	7,791,650
負債合計	11,924,093	11,524,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	19,032	19,216
利益剰余金	△2,987,480	△2,752,534
自己株式	△31,880	△31,880
株主資本合計	△2,250,328	△2,015,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	242,236	28,091
土地再評価差額金	7,044,060	7,044,060
退職給付に係る調整累計額	△16,805	△14,331
その他の包括利益累計額合計	7,269,491	7,057,821
非支配株主持分	11,141	11,132
純資産合計	5,030,305	5,053,755
負債純資産合計	16,954,399	16,578,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業収益	2,292,742	2,417,622
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	1,788,313	1,675,616
販売費及び一般管理費	704,328	709,932
営業費合計	2,492,641	2,385,549
営業利益又は営業損失(△)	△199,898	32,073
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	22,712	19,274
土地物件貸付料	10,082	9,467
助成金収入	26,292	3,602
その他	2,763	2,232
営業外収益合計	61,856	34,581
営業外費用		
支払利息	15,223	15,776
減価償却費	6,740	6,740
その他	678	1,014
営業外費用合計	22,641	23,531
経常利益又は経常損失(△)	△160,684	43,123
特別利益		
投資有価証券売却益	—	501,564
事業譲渡益	—	70,000
補助金受入額	9,914	—
特別利益合計	9,914	571,564
特別損失		
固定資産圧縮損	9,764	—
減損損失	—	338,491
特別損失合計	9,764	338,491
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△160,533	276,196
法人税、住民税及び事業税	15,182	37,881
法人税等調整額	18,472	3,204
法人税等合計	33,655	41,086
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△194,188	235,110
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	164
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△194,171	234,945

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△194,188	235,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,870	△209,958
退職給付に係る調整額	1,423	2,474
その他の包括利益合計	3,294	△207,484
四半期包括利益	△190,894	27,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△190,877	23,274
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	4,351

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	卸売・ 小売業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,510,437	164,256	198,257	248,671	2,121,622	171,119	2,292,742	—	2,292,742
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	6,169	7,525	466	17,176	31,338	128,379	159,718	△159,718	—
計	1,516,607	171,781	198,724	265,848	2,152,961	299,498	2,452,460	△159,718	2,292,742
セグメント 利益又は損 失(△)	△202,080	72,123	△13,970	9,335	△134,591	△68,922	△203,514	3,615	△199,898

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業、建設・電気工事業及び旅行業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額3,615千円には、固定資産未実現損益の消去額1,989千円、セグメント間取引消去1,626千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	卸売・ 小売業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,642,956	173,266	205,257	238,361	2,259,841	157,781	2,417,622	—	2,417,622
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	4,818	7,512	1,228	60,201	73,761	148,054	221,816	△221,816	—
計	1,647,774	180,779	206,486	298,562	2,333,603	305,836	2,639,439	△221,816	2,417,622
セグメント 利益又は損 失 (△)	△30,114	96,305	△5,369	13,216	74,037	△45,561	28,475	3,598	32,073

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業、建設・電気
工事業及び旅行業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額3,598千円には、固定資産未実現損益の消去額1,985千円、
セグメント間取引消去1,612千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、事業の重要性を考慮し報告セグメント区分を変更しております。
これに伴い、従来「鉄道事業」、「不動産事業」、「観光事業」、「バス事業」、「その他」としていた
セグメント区分を「鉄道事業」、「不動産事業」、「観光事業」、「卸売・小売業」、「その他」に変更
しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの
区分に基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

- 「鉄道事業」セグメントにおいて、29,671千円の減損損失を計上しております。
- 「不動産事業」セグメントにおいて、308,819千円の減損損失を計上しております。

3. その他

(重要事象等について)

当社グループは、前連結会計年度まで継続して営業損失を計上してきており、監査・保証実務委員会報告第74号
「継続企業の前提に関する開示について」に照らすと、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象また
は状況が存在しているとみなされます。このような事象または状況を解消するために、以下の課題に取り組んでま
います。

- ・多面的な検証による適正な運賃・料金についての検討
- ・「花園IC拠点整備プロジェクト」による交流人口増加の効果を最大限に享受、また、沿線の各観光施設への周遊
の機会増加を図るためグループ一体となった各種イベント、諸施策の実施
- ・グループ全体の観光事業の再構築
- ・安定的で収益力の高い不動産事業への転換
- ・資金残高を踏まえた資産の有効活用と金融機関との関係の強化

これらの施策により、翌1年間の資金繰りは安定すると考えられることから、現時点において今後の事業継続に
関して重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	2,290	2,213	3.5
	定期外	〃	1,413	1,162	21.6
	計	〃	3,703	3,376	9.7
貨物トン数		千トン	862	858	0.4
旅客収入	定期	百万円	332	315	5.3
	定期外	〃	553	458	20.8
	計	〃	885	773	14.5
貨物収入		〃	624	610	2.3